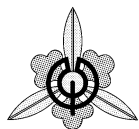


三中校長だより 保護者地域の皆さんへ

第21号 R4.3.8 (火)



藤井寺市立第三中学校

校長 奥 雅 美

3年生これまでの学び

最近、3年生の進路関係で生徒自身がこれまでに学んだことを書いた文章を読む機会が多いです。卒業後の夢に向かって頑張ろうとしていることや、コミュニケーションに苦勞してきた子が、自分と合わない相手とどんな風にうまく折り合っていくのかを考えたことや、学校行事や部活動を通して得た達成感やみんなで協力することの素晴らしさを学んだこと、仲間への感謝の気持ちなど、人と人がぶつかり合って得たものが本当に多いのだということがよく分かりました。リモートではこんな気持ちにはならないでしょう。制限の多い学校生活の中で素晴らしい成長をしてきていることに胸が熱くなりました。

「非行防止教室」2年生

2月25日(金)羽曳野警察署生活安全課少年係の方にSNSトラブル、大麻などのお話をいただきました。感染防止のために会議室から各教室にリモート配信しました。SNSの誹謗中傷が犯罪になることや、捜査の結果何年かたってから立件される場合もあり、進路にも影響が出た実例などを挙げて説明していただきました。また、詐欺に遭わないように怪しいメールに返信したり、個人情報を入力したりしてはいけないということも教えていただきました。生徒の感想文を読むと、自分たちが軽い気持ちでやっていることが犯罪に結びつくことや、中2学年である14歳以上が逮捕される年齢だと知って驚いたようです。インターネットは便利ですが、とても危険なものです。そこをしっかりと理解しながら利用の仕方を考えるなど、深い学びになりました。

産経新聞投稿欄全国版に掲載

全国読書感想文コンクールその後

1月24日に続き、2月21日と28日の産経新聞朝刊に本校2年生の投稿が掲載されました。どちらも統計データを分析し、それを参考に、自分の生活と結びつけて考えたものです。二人の投稿文の内容を紹介します。

☆「さまざまなメディアで情報収集」

10代のインターネット平均使用時間は急激に増えているのに、テレビ・新聞・ラジオなどのメディアに触れる機会が減っていることを捉え、さまざまなメディアからバランス良く情報を収集することで視野を広げた方がいいのではないかと考えています。目の付け所がいいなと感じました。

☆「犬猫殺処分ゼロへのお手伝い」

犬や猫の殺処分は年々減少しており、それは保護団体の活動が大きな要因になっていることを調べて書いています。その活動の成果として、彼女の家のようにペットを飼うときの選択肢として保護猫を迎えるという文化が広まってきたようです。素敵なことだと思いました。

また、府の代表になっていた3年生の全国読書感想文コンクールは全国中学校の部「入選賞」をいただきました。おめでとうございます。

沢山の良い評価をいただき、本当に嬉しいです。自分の考えたことを書くこと、表現すること、それを色々な人に読んでもらうことで、その反響をフィードバックし、また新たな考えが浮かんでくるという良い循環ができています。みんなこれからも自信を持ってどんどん書いて、文章を世に出して行って欲しいと思います。

これらの作品は学校図書館の前に掲示していただいています。